

土砂災害に備えよう

自然が豊かで山間部が多い南区では、その地理的特性から、集中豪雨の際の土砂災害の危険性が高いことが懸念されています。今月の特集では、土砂災害の発生に備えるための予備知識や、土砂災害に限らず災害が発生したときの避難所についてお知らせします。

【この特集についてのお問い合わせ先】総務企画課地域安全担当 ☎582-4706

床下浸水	1戸
住宅一部損壊	1戸
道路冠水	15カ所
道路被害	8カ所
土砂崩れ	8カ所
河川氾濫等	25カ所
下水管損壊	1カ所

9月11日の大雨の南区内の被害状況

市内にある土砂災害危険箇所のうち、57%が南区内にあります

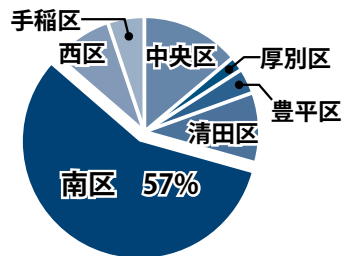
南区には土砂災害危険箇所が集中しています。南区には山間部が多く、特に崖崩れの危険箇所の多さが目立っています。

<資料>総務企画課地域安全担当

■区内の地域別危険箇所数

	澄川	藻岩下	真駒内	藻岩	南沢	石山	芸術の森	藤野	簾舞	定山渓	計
土石流	1	5	0	18	13	10	19	16	25	55	162
崖崩れ	17	10	10	38	17	18	76	37	51	107	381
地滑り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	18	15	10	56	30	28	95	53	77	162	544

■札幌市区別危険箇所数



土砂災害には前触れ現象があります

土砂災害が発生するときは、多くの場合、前触れ現象が起きます。前触れ現象に気付いた時は、その場から離れて安全な場所へ避難しましょう。

土石流

- 川の水が濁り、流木が混じり始める
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 山鳴りがする

大量の土砂が沢から一気に流れ出します

- 斜面にひび割れができる
- 斜面から水が湧き出す
- 斜面から小石がバラバラ落ちる

崖崩れ

急な斜面が突然崩れます

土砂災害が起こりやすい箇所をあらかじめ確認しておきましょう

札幌市では、地理的な特性や過去の災害発生時の情報を参考にして、土砂災害の被害を受けやすい箇所を記した図面（地図）を作成しています。自分の家がある箇所の危険度や避難経路について、日ごろから確認しておくことで有事の際にも落ち着いて行動できます。

土砂災害避難地図（ハザードマップ）

北海道による土砂災害警戒区域への指定が完了している澄川・南沢・石山地区の危険箇所や避難する場所、避難の心得等を掲載。
※その他の地区についても、順次土砂災害警戒区域に指定される予定です。



土砂災害危険箇所図

今後、土砂災害警戒区域に指定される予定の藻岩下・真駒内・藻岩・芸術の森・藤野・簾舞・定山渓地区の危険箇所や避難する場所を掲載。



※土砂災害避難地図（ハザードマップ）、土砂災害危険箇所図は区役所で閲覧できます。その他、札幌市のホームページにも掲載しています。

札幌市 災害 地図 [検索](#)